

経済産業省「未来の教室」実証事業により

高校カリキュラムのアップデートを図ります！

～「LIFE-TECH ACADEMY NETWORK構想」の実現に向けて～

この度、経済産業省「未来の教室」実証事業の実証フィールドとして広島県が選ばれました。この「未来の教室」実証事業を、これまで本県が取り組んできた「学びの変革」と有機的に機能させることで、学校間の連携や産業界・研究機関の参画を得ることにより、STEAM教育（※）の視点を取り入れた、広島ならではの「学びの変革」を更に加速します。

（※）科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、人文社会 (Arts)、数学 (Mathematics) 等の各教科での学習を実社会での課題解決に生かしていくための教科横断的な教育

1 経緯

広島県では、変化の激しい社会で活躍する人材を育成するため、平成26年度に「『学びの変革』アクション・プラン」を策定し、生徒の主体的な学びを促す課題発見・解決学習や異文化間協働活動の推進等に取り組んでいます。

また、令和元年度からは、探究的な学びを高度化するため、「WWL（ワールド・ワイド・ラーニング）コンソーシアム構築支援事業」を実施し、大学、自治体、企業等との連携・協働の在り方やカリキュラムについての研究を進めるほか、男女共同参画の視点からキャリア教育の推進を図る「高校生のライフプランニング教育」プログラムや商業教育のアップデートを図るコアカリキュラムの開発等に取り組んでいます。

2 令和2年度「未来の教室」実証事業での主な取組

(1) 「オンラインライブラリ」の実現

時間や場所や所属校に関係なく、高度な探究活動に活用できる動画コンテンツを大学・企業等と連携して開発、県下全校からアクセス可能なクラウド上に整備（福山誠之館高等学校等）

(2) 「STEAMカリキュラム」の開発

- ① 商業高校で既に開発した1年生対象の「ビジネス探究プログラム」に接続する2年生対象のアントレプレナーシップの育成を図るカリキュラムの開発・検証（広島商業高等学校）
- ② 普通科高校・専門高校において、データの収集・分析と多様な分野の関わりや融合によるビジネスの創出など、実社会をフィールドに、リアルな課題解決型学習を実現（廿日市高等学校、庄原実業高等学校）